

する資本家を嚴罰に處する精神を具備したる勞働組合法を即時制定せん事を要求す。  
右決議す

日本勞働總同盟東京鐵工組合昭和六年度大會

内務大臣安達謙藏閣下

### 決議 (第二)

我等は完全なる勞働組合法獲得にあたり之に反對する一切のものに對し徹底的闘争を期す。  
一九三二、九、二〇

日本勞働總同盟東京鐵工組合昭和六年度大會

## 失業者即時救済に關する件

提出 本部

失業救済は刻下の最大急務である。我が組合は昨年度大會に於て決議し、政府に向つて公益的新事業を起して失業者に職を與へ、一方失業手當金を支給すべしと要求した。其後凡ゆる手段と方法を盡して之が實現を迫つたのであるが、誠意なき民政黨内閣は何等具體的對策を講じない。  
今や失業者は資本主義の毒牙にかゝり續々と増加し百八十萬の多數にのぼると傳へられて居る。我等は之が徹底的救済を要求して俟まざらざるを得ない。

決議

犠牲にし失業の巷にあるが我等の同胞百八十萬の多きに達せんことを

今や失業不安は全國に漲り、失業苦より生ずる社會的、人道的犯行は益々激増しつゝある。

我等は之が救済は刻下の急務にして其の一切の責任は歸して政府當局にある事を斷言す。

我等は政府が此の失業大恐慌時にあたり速かに資本家階級に特別税を課し以つて失業者の非常救済を即時斷行せん事を要求す。

日本勞働總同盟東京鐵工組合昭和六年度大會

## 十年間繼續組員表彰の件

提出 本部

組員の繼續年限の短かき事は我國勞働組合の大なる缺陷であつたが近來我が鐵工組合も漸次組合の基礎が強固になるに従つて相當繼續して組員たる者が増加した。之等の人々は有形無形に組合發展に協力したる人々であつて團體として表彰すべきである。信じて總同盟二十週年を期して本案を提出した次第である。

本大會は表彰委員會を設立して表彰に關する方法を決定する事。

## 罷業中團員に日給支拂に關する件

提出 本部

今日我國の資本家と闘ふ時意氣と熱さがなくして決して闘ひを斷行出來得るものではない。